

オープンイノベーションの取り組みについて

2022年7月29日



会社概要

商号 トヨーカネツ株式会社

代表者 代表取締役社長 大和田 能史

創立 1941年(昭和16年)5月16日

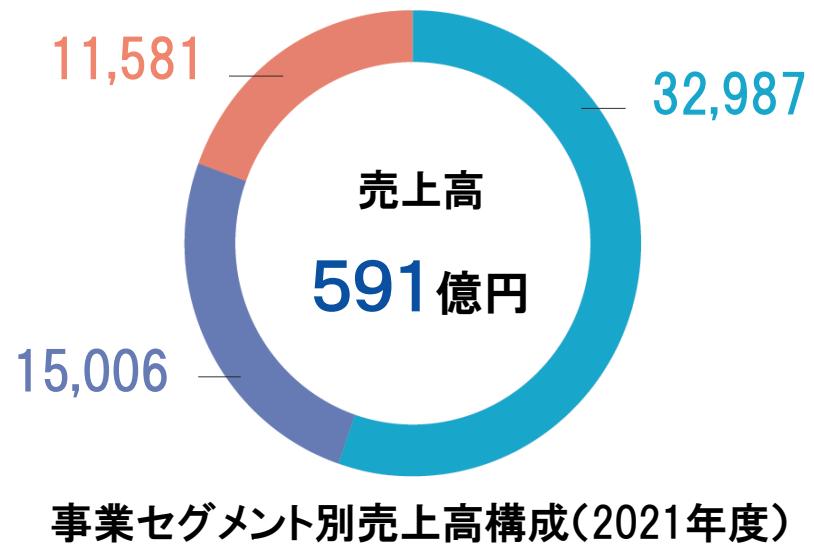
本社所在地 東京都江東区南砂二丁目11番1号

売上高 連結59,177百万円 (2022年3月期)

従業員数 連結1,173名 (2022年3月期)

上場取引所 東京証券取引所(プライム市場)

- 物流ソリューション事業
- 機械・プラント事業
- その他事業(環境・産業インフラ事業など)



社は「わが社は 常にすすんで よりよきものを造り 社会のために奉仕する」の下、
社会インフラを支える事業を展開する会社

事業内容

物流ソリューション事業



生協業界における
デジタルピッキングシステム

国内シェア 第1位

空港手荷物搬送システム

国内シェア 8割以上

プラント事業 次世代エネルギー開発事業



世界で納入したタンクの数

5,700 基以上

LNGタンク

世界シェア 14%以上

みらい創生事業 その他事業



アスベスト分析数
30,000 検体以上

ワインチ出荷実績
国内 第1位

スタートアップへのCVC投資件数

Exploring the Future
TOYO KANETSU × CVC JAPAN
TKCV
PARTNERSHIP

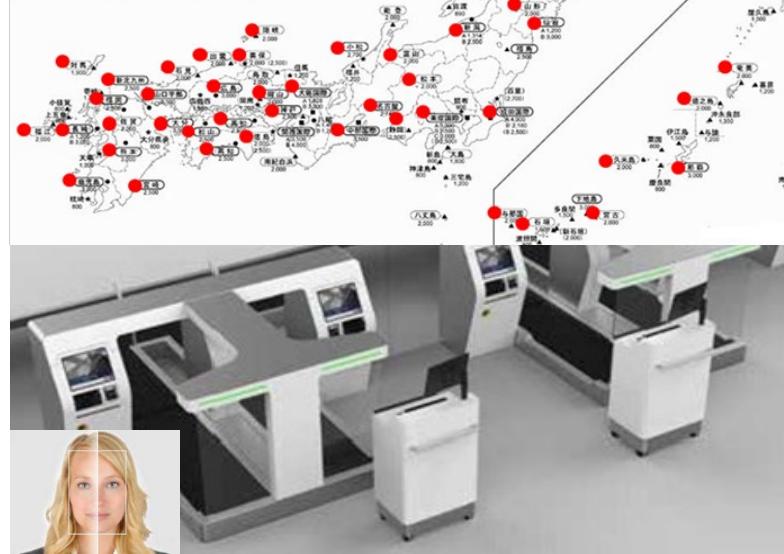
9社

物流ソリューション事業のご紹介

流通業界向けソリューション

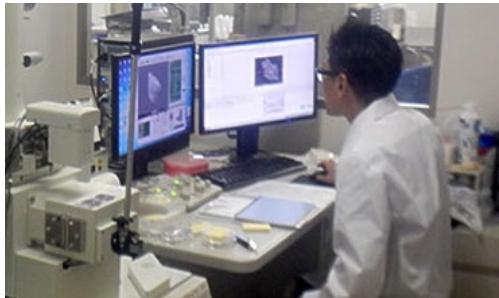


空港向けソリューション



物流現場の省人化を実現するソリューションを幅広く展開

環境事業のご紹介

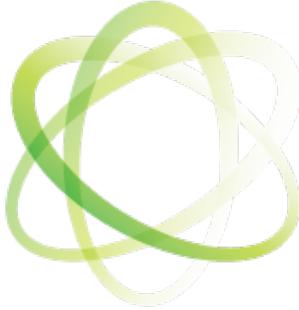


アスベストを中心に、環境分野の
調査・分析・測定業務を幅広く展開
IoTを活用したモニタリング技術に注力



環境計測機器保守管理、
生活・自然環境調査、
関連システムソリューションを展開
産学連携でAI活用に取り組む

トヨーカネツ・コーポレートベンチャー投資事業組合のご紹介



Exploring the Future
TOYO KANETSU × CVC JAPAN
TKCV
PARTNERSHIP

- TYPE 01 | 新規事業立ち上げの技術・事業シーズ
- TYPE 02 | 既存事業とのシナジー
- TYPE 03 | フィナンシャル・リターン

2017年 1号ファンド設立(総額5億円)

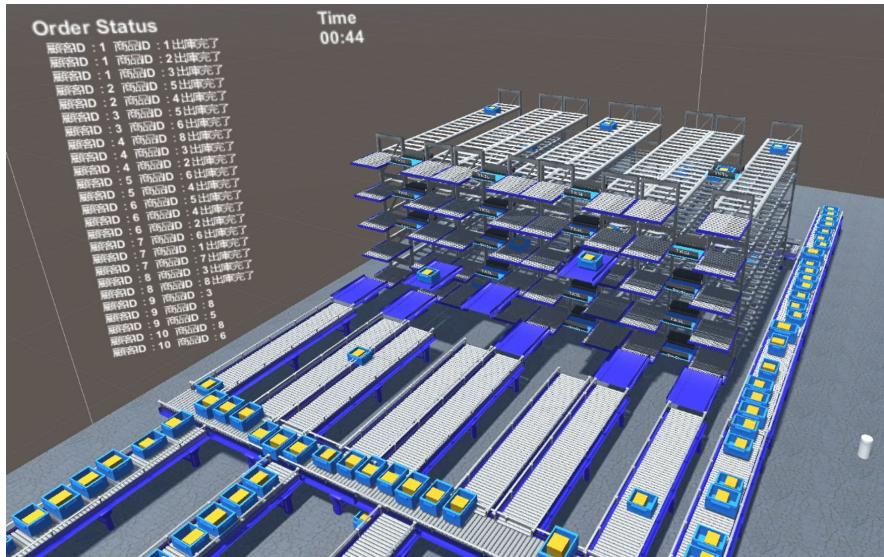
2018年 2号ファンド設立(総額8億円)

累計投資先企業数: 9社

投資先事業例 : 画像/音声認識・AI・IoT等

地域 : 日本・アメリカ・シンガポール・オーストラリア

スタートアップ企業との協業事例(物流ソリューション事業)



デジタルツイン技術で再現された当社主力製品「マルチシャトル」

デジタルツインとAIの 活用による 自動倉庫制御ロジック最適化

- 独自のAIアルゴリズムにより最適化することで
最大20%の動作効率向上を確認
- Datumixは本開発により特許を取得(2021年)

Datumix株式会社様

物理空間を仮想空間上に再現し、様々なシミュレーションを可能とするデジタルツイン技術や、深層学習によるAIアルゴリズム開発・DXコンサルティングを行う

協業希望領域

Scope 1

物流ソリューション事業

- 例1: AI技術を活用したAMR(自律走行搬送ロボット)の最適化
- 例2: マテハンと連携したWMS(倉庫管理システム)開発による
庫内オペレーションの高度化



Scope 2

環境事業

- 例1: AI・IoT技術を活用したセンシング・モニタリング技術の高度化
- 例2: 防災・減災など、環境関連の課題解決に資する技術



Scope 3

その他

- サプライチェーン全体におけるデータ利活用技術(物流・環境 両領域)
- 持続可能な社会を支える新しい事業の創出

Action for the Future

期待を超える実行力で、未来を支えるチカラになる

トヨカネツ株式会社

